

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年10月19日

計画の名称	美祢市民生活の基盤が充実した、自然と共生したまちづくり											
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	美祢市											
計画の目標	優れた自然環境を保全し、すべての市民が快適で文化的な生活が営めるよう、公共下水道事業計画に基づく計画的事業実施に努める。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	750	A	750	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値	最終目標値 (H31末)
1	公共下水道の整備率を、82.3%(H27当初)から82.6%(H31末)に増加させる。 公共下水道の整備率 公共下水道の整備率(%) = 整備済み面積(ha) / 事業計画面積(ha) × 100	823%	%	826%
2	生活排水の使用不可を未然に防ぎ、利用者が安心して暮らすため、美祢市浄化センターの施設維持を効率的に行う。 美祢市浄化センターの改築すべき施設のうち、改築された施設数の割合 浄化センターの改築率(%) = 改築実施済み施設数 / 改築すべき施設数 × 100	0%	%	100%
3	下水道施設全体の持続的な機能確保及びライフサイクルコストの低減を図り、市民が快適で文化的な生活が営めるよう、ストックマネジメント計画の策定率を0%(H27当初)から100%(H31末)に増加させる。 ストックマネジメント計画策定率 計画策定数 / 予定計画策定数	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	美祢市	直接	美祢市	管渠(汚水)	新設	下村準幹線管渠布設 A1-1-1	PVC = 200mm L = 647m	美祢市						15	-	
		長寿命化																	
	A07-002	下水道	一般	美祢市	直接	美祢市	終末処理場	改築	美祢市浄化センター A1-1-2	長寿命化・施設改築等	美祢市							613	策定済
		長寿命化																	
	A07-003	下水道	一般	美祢市	直接	美祢市	終末処理場	改築	美祢市浄化センター A1-1-3	長寿命化・実施設計等	美祢市							4	策定済
		長寿命化																	
	A07-004	下水道	一般	美祢市	直接	美祢市	管渠(汚水)	-	美祢市汚水処理施設整備構想 A1-1-4	美祢市汚水処理施設整備構想の策定	美祢市							8	-
		長寿命化																	
	A07-005	下水道	一般	美祢市	直接	美祢市	管渠(汚水)	-	基本計画の検討等 A1-1-5	基本的な計画の検討等	美祢市							21	-
		長寿命化																	
	A07-006	下水道	一般	美祢市	直接	美祢市	-	-	下水道ストックマネジメント計画策定 A1-1-6	維持管理・更新計画の策定	美祢市							89	-
		長寿命化																	
											小計						750		



事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 担当部局内で事後評価を実施	事後評価の実施時期 事業終了後
	公表の方法 市ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・準幹線の整備により、下水道整備率が82.3%（平成27年度当初）から82.8%（平成31年度末）になった。</li> <li>・長寿命化計画の策定対象として選定した施設7箇所に対し、長寿命化計画による施設の改築更新を実施することができた。</li> <li>・中長期的な施設状態を予測しながら維持管理、改築を画的・効率的に管理するストックマネジメント計画を策定することができた。</li> </ul>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<p>今後については、策定したストックマネジメント計画に基づき、計画的に改築、修繕等を行っていく。また、管渠も同様に供用開始から約30年を経過しており、経年劣化している管渠が増加している。雨天時の大量の不明水により下水処理に大きな支障が生じていることからストックマネジメント計画に基づき対策を行っていく必要がある。</p>	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	公共下水道の整備率(%) = 整備済み面積(ha) / 事業計画面積(ha) × 100		
	最終目標値	826‰	目標達成 整備率82.3% (H27当初) から82.6% (H31末)、実績値82.8% (628.5 / 759.1)
	最終実績値	100‰	
2	浄化センターの改築率(%) = 改築実施済み施設数 / 改築すべき施設数 × 100		
	最終目標値	100%	目標達成 改築率0% (H27当初) から100% (H31末)、実績値100% (7 / 7)
	最終実績値	100%	
3	計画策定率(%) = 計画策定数 / 予定計画策定数 × 100		
	最終目標値	100%	目標達成 策定率0% (H27当初) から100% (H31末)、実績値100% (1 / 1)
	最終実績値	100%	